



## 社会福祉法人岡山博愛会様に対する 『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』の実施について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、2024年2月15日（木）、岡山支店取引先 社会福祉法人岡山博愛会（岡山県岡山市中区江崎 理事長 更井 哲夫）に対し、『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』を実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資のことです。お客さまと当行が協議の上、マテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針を定め、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）を設定し、当行がモニタリングを行うことで、お客さまのサステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

記

### ■企業の概要

会社名 社会福祉法人岡山博愛会  
所在地 岡山県岡山市中区江崎 456-2  
業種 病院・老人福祉施設・保育園

### 【サステナブルな取組み】

岡山博愛会の生みの親、アリス・ペティ・アダムス先生が大切にされた「全ての人を愛する神の愛」ラヴィング・オールの精神を全ての職員が胸に刻み、日々の業務にて実践しています。質の高い、社会のニーズに対応した医療・介護の提供を通じ、皆さんに健康と安心を届けます。



※社会福祉法人岡山博愛会の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」については、別紙をご参照ください。

以上

社会福祉法人岡山博愛会

ポジティブインパクトファイナンス評価書



2024年2月15日



百十四銀行は、社会福祉法人岡山博愛会（以下、「岡山博愛会」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、当社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト（以下、「PI」）/ネガティブインパクト（以下、「NI」））を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、百十四銀行が開発した評価体系に基づいている。

---

## 目次

1. 法人概要と経営理念、サステナビリティ.....	4
(1) 社会福祉法人岡山博愛会の法人概要 .....	4
(2) 社会福祉法人岡山博愛会の事業概要 .....	6
(3) 経営理念.....	8
(4) サステナビリティ.....	9
2. インパクトの特定.....	10
(1) バリューチェーン分析.....	10
(2) インパクトマッピング.....	10
(3) インパクトレーダーによるマッピング .....	10
(4) 特定したインパクト .....	14
(5) インパクトニーズの確認、百十四銀行との方向性の確認.....	17
3. インパクトの評価.....	18
4. モニタリング.....	19
(1) 岡山博愛会におけるインパクトの管理体制 .....	19
(2) 百十四銀行によるモニタリング .....	19

---

## 1. 法人概要と経営理念、サステナビリティ

## (1) 社会福祉法人岡山博愛会の企業概要

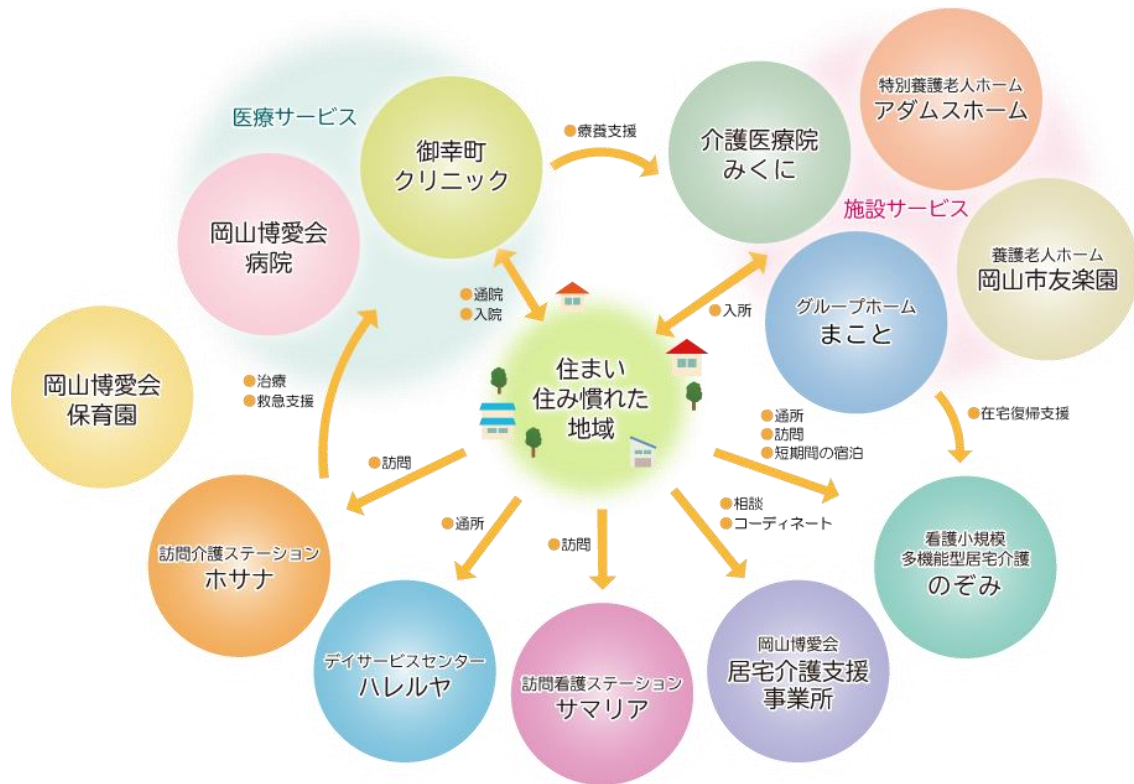
企業名	社会福祉法人岡山博愛会
創立	1891年
代表者名	理事長 更井 哲夫
基本金	2億6,000万円
従業員	519 人 (2023年3月末)
売上高	42億800万円 (2023年3月期)
事業拠点 (主な拠点)	<p>岡山博愛会病院 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2 御幸町クリニック 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 介護医療院 みくに 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2 特別養護老人ホーム アダムスホーム 〒702-8001 岡山市中区沖元502 養護老人ホーム 岡山市友楽園 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33 岡山博愛会居宅介護支援事業所 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 デイサービスセンター ハルルヤ 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 訪問看護ステーション サマリア 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 訪問介護ステーション ホサナ 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33 (養護老人ホーム 岡山市友楽園内 1F) 看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 グループホーム まこと 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 岡山博愛会保育園 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-12</p>

## &lt;沿革&gt;

1891年	アメリカンボード宣教師アリス・ペティー・アダムスが花畑地区の子供たちとクリスマス会を持ち、日本学校を開始する。日本最初のセツルメントである
1896年	私立花畑尋常小学校を開校する
1899年	花畑キリスト教講義所を開講する
1901年	花畑裁縫夜学校を開校する
1905年	花畑施療所を開き、無料診療を開始する。これが本院・分院へと発展する
1906年	幼稚園を小学校に附設する
1907年	施し風呂を開設し、地区の人々に無料にて開放する
1910年	設立20周年を記念して岡山博愛会の名称の下、凡ての事業をなす記念事業として保育園を開設する
1912年	財団法人岡山博愛会として認可
1923年	アダムス先生藍綬褒章 受章
1937年	北米マサチューセッツ州ニュートンのナーシングホームにてアダムス女史召天する
1945年	戦災により全施設焼失し、終戦となる
1947年	市内門田屋敷に仮診療所を再建、これが岡山博愛会病院本院となる
1948年	市内花畑（現御幸町）の焼け跡に保育園舎を再建する
1951年	アメリカンボードより資金援助を受け、花畑に病院を新築する
1952年	社会福祉法人 岡山博愛会となる
1970年	特別養護老人ホーム アダムスホームを設立80周年記念として建築する
1991年	岡山博愛会100周年記念式典を挙げる
2003年	特別養護老人ホーム アダムスホームを市内沖元に新築移転する
2010年	岡山博愛会病院本院と分院を統合し、市内江崎に新病院を新築移転する 介護老人保健施設 みくにを開設する
2018年	介護老人保健施設 みくにを介護医療院 みくにへ転換 在宅総合支援センター アリス開設
2020年	岡山博愛会保育園を市内御幸町に新築移転する 住宅サポートセンター ミッションハウスを市内御幸町に開設、施設内に看護小規模多機能型居宅介護のぞみ・グループホームまことを開設 御幸町クリニックを移転する
2022年	養護老人ホーム 岡山市友楽園の指定管理者に認定、運営を開始する 訪問介護ステーション ホサナを開設

(2) 社会福祉法人岡山博愛会の事業概要

病院理念は「自分のして欲しいように人にしてさし上げる」。岡山博愛会は、アメリカ人宣教師「アリス・ペティ・アダムス」によって1891年に設立された日曜学校から始まっている。1905年から医療事業を開始し、現在は岡山博愛会病院を中心に、介護福祉施設9か所、クリニック1か所、保育園1か所の多様な医療・福祉事業を展開している。岡山地域の医療・介護を包括的に担い、創立者アダムス氏の「Loving All」を体現する活動を行っている。



①岡山博愛会病院

1952年5月開設。内科を中心とし、一般病棟1棟（44床）地域包括ケア病棟1棟（44床）、回復期リハビリテーション病棟2棟（83床）を開設している。2023年3月から地域包括ケア病棟1病棟を回復期リハビリテーション病棟へ変更し、内科疾患のみならず脳梗塞や頭部外傷などの脳疾患、骨折などの整形外科的疾患の患者へのリハビリ医療も強化している。「365日リハビリテーション 元気になっておうちへ帰ろう」をテーマに、日曜・祝日を含めて常に20人以上のセラピストを配置し、1人1日平均2.5～3時間の手厚いリハビリメニューを実施している。特徴的なものとして、当院独自の食事機能リハビリチーム[AeE(activities to enjoy eating)]がある。歯科衛生士による口腔ケアで口内環境を清浄に保ち、誤嚥での肺への細菌流入を防ぎ、言語聴覚士による摂食・嚥下機能訓練にて安全に嚙む・飲み込む力をつけ、管理栄養士監修による十分な栄養量が確保された食事を口から食べることで、日常生活への復帰を早めている。当院では、このような多職種連携リハビリテーションが多く行われており、様々なリハビリニーズに対応している。



## ②介護福祉事業

リハビリテーションにより日常生活に必要な身体機能が回復しても、すぐに自宅に戻れないケースも多い。岡山博愛会では、特別養護老人ホームや介護医療院（長期にわたり療養が必要である人に対し、必要な医療、機能訓練、日常生活上の世話をを行い、利用者一人ひとりが能力に応じて自立した日常生活を営むことができるようサービスを提供することを目的とした介護施設）、グループホームなど、介護施設を複数展開している。また自宅で生活する高齢者を支援できるよう、訪問看護ステーション、デイサービスセンター、訪問介護ステーションなどサポート体制を充実させ、自分らしく暮らせる介護福祉体制を構築している。中でも、訪問看護・介護、デイサービス、ショートステイの4つのサービスを、ケアマネジャーが、看護小規模多機能型居宅介護計画を立案し一元的に行う看護小規模多機能型居宅介護のぞみは、利用者の状態に即応する形で柔軟にサービスを組み合わせて提供することが可能であり、岡山市内でも数少ない事業所であるため、注目が高まっている。

※当法人運営介護福祉施設一覧

- ・介護医療院みに
- ・特別養護老人ホームアダムスホーム（入所介護と短期入所介護を提供）
- ・養護老人ホーム岡山市友楽園  
（経済的・家庭的理由により、現在の生活を続けていくことが困難な人への入所介護を提供）
- ・グループホームまこと（認知症患者へ少人数での共同生活の中での生活支援を提供する）
- ・居宅介護支援事業所  
（介護サービス提供事業所や介護保険施設と連絡調整・情報交換を行い、ケアプランの作成を行う）
- ・訪問看護ステーションサマリア（医療的ケアを必要とする在宅患者へ看護師を派遣しケアを実施する）
- ・訪問介護ステーションホサナ（ケアプランに基づき、生活の場へスタッフが訪問し介護サービスを提供）
- ・デイサービスセンターハルルヤ  
（地域密着型通所介護認定を取得。機能訓練指導員による身体機能維持・向上やレクリエーションなどを実施）
- ・看護小規模多機能型居宅介護のぞみ



## ③岡山博愛会保育園

「健康で明るくいたわりと感謝の心をもつ子どもに」をモットーに「1891年創立者アダムス先生によりたてられた、愛にあふれるキリスト教精神に基づき、ワーキングマザーの皆様と共に地域のニーズに応えながら子どもにとって何が最善かを常に追求し、質の高い子育て、環境づくりを目指す保育を行う。」という保育理念のもと保育事業を行う。毎月様々な行事を行い、地域とも連携しながら子どもたちを感受性豊かに育てている。





### (3) 経営理念

創業者アダムス氏から受け継がれている「Loving All」の理念のもと、各施設にて理念を立てて運営を行っている。

#### 岡山博愛会病院 病院理念

自分のして欲しいように人にしてさし上げる

#### 介護医療院 みくに 理念

岡山博愛会設立の精神を基盤とし、安心して快適な生活の場を提供する

思いを共有し 共に過ごし 共に歩む

#### 訪問看護ステーション サマリア 理念

利用者から信頼され喜んでいただける、やさしく、思いやりのある訪問看護を目指す。

#### デイサービスセンター ハレルヤ 理念

ご利用者を中心としたケアを提供し、ご利用者の尊厳を守るケアを提供します。

身体拘束等は原則として実施しません。

ご本人の心身安全面、他のご利用者の心身安全面などの確保などの際において緊急を要し他に代替の方法がなく、ごく短時間な都合にやむをえず実施する場合においてはご家族の同意の上、実施します。

#### 岡山博愛会保育園 保育理念

1891年創業者アダムス先生によりたてられた、愛にあふれるキリスト教精神に基づき、

ワーキングマザーの皆様と共に地域のニーズに応えながら

子どもにとって何が最善かを常に追求し、質の高い子育て、環境づくりを目指す保育を行う。

また岡山博愛会の各施設は、上記の理念を医療・看護・介護・保育サービスへ具体化させる方針も設定している。

#### 岡山博愛会病院 基本方針

質の高い医療を提供します

丁寧、親切、思いやりのある、人にやさしい医療を提供します

患者さんと家族に喜ばれる医療サービスを提供します

社会の変化や地域のニーズに柔軟に対応し、健全な経営基盤の確立を目指します

働きやすい職場環境と職員の成長を支援し、良質な医療の提供につなげます

#### 特別養護老人ホーム アダムスホーム 運営方針

喜ぶものとともに喜び、泣く者と共に泣きなさい（ロマ書12章15節）

1. 利用者の人となりを大切に、有する能力に応じた支援
2. 利用者支援の質向上、他施設との差異化
3. チームとしての支援体制の強化

#### 居宅介護支援事業所 運営方針

介護保険法の理念に基づき利用者がその有する能力に応じて

在宅で自立した生活を送れるよう、適切な支援をいたします

#### デイサービスセンター ハレルヤ 基本理念

住み慣れた地域で少しでも心身を潤せるよう楽しいひと時を過ごせる場所を提供致します。

#### 岡山博愛会保育園 保育目標

1. 健康で明るい子ども
2. いたわりと感謝の心をもつ子ども
3. よい生活習慣が身についた子ども

#### (4) サステナビリティ

サステナビリティへの具体的な取り組みとしては、全社で様々な活動を行っており、それらは次の表のとおりである。

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>内科診療を中心に回復期から在宅医療までを担うケア・ミックス型の病院です。関連施設として特養、介護医療院、在宅部門、住宅部門、保育園をはじめ、12の施設があり、病院と介護施設と連携しながら質の高い医療・介護を提供しています。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>職員に向けた勉強会だけでなく、地域の方へ向けた市民公開講座も定期的を開催しています。</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>女性の効果的な社会参画と平等なリーダーシップの機会を確保します。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>施設内の照明は全てLEDを使用し、放熱が少なく耐久性もあり電気料金削減に貢献しています。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>職員のワークライフバランスを推進し、仕事と家庭の両立を支援します。 子育てサポート企業として、「くるみん」を取得しています。</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>ICTを積極的に取り組み、業務の効率化・質の向上を図ります。「安全・安心で質の高い地域医療と介護の提供」を目指し、今後も一層努めていきます。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>社会福祉法人の施設として病院と介護施設と連携しながら質の高い医療・介護・福祉を提供し、医療・介護・福祉を通じ、地域に安心をお届けします。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>節水タイプの水回り設備の導入をはじめとする環境対策を積極的に行っています。 再生可能エネルギーの活用やさらなる省エネ化、資源の有効活用に取り組み、一歩進んだ環境負荷の低減に取り組んでいます。</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>グリーンカーテンを用いて日射を遮り、室温の上昇を抑えます。</p>
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>環境保全の一環として定期的な地域清掃を実施、施設内の花壇の整備にも力を入れて取り組んでいます。</p>
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>岡山博愛会の生みの親、アリス・ベティ・アダムス先生が大切にされた「全ての人を愛する神の愛」(Loving All) の精神を全ての職員が胸に刻み、日々の業務にて実践しています。</p>

## 2. インパクトの特定

### (1) バリューチェーン分析とインパクトマッピング

- 当法人のサービス提供先は一般消費者となるため、川上の事業と当社の事業に限定する。

川上の事業	当法人の事業
医薬品、薬用化学品及び植物性薬品製造業 (業種コード 2100) 医療及び 歯科用機器・備品製造業 (業種コード 3250)	病院事業 (業種コード 8610) 居住介護施設 (業種コード 8710) 宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業 (業種コード 8810) 宿泊施設のないその他の社会事業 (業種コード 8890)

### (3) インパクトレーダーによるマッピング

●●：対応必須

●：対応推奨

バリューチェーン	川上の事業			
	2100 医薬品、薬用化学品 及び植物性薬品製造業		3250 医療及び 歯科用機器・備品製造業	
業種名				
インパクト	PI	NI	PI	NI
水				
食料				
住居				
健康・衛生	●●		●●	
教育				
雇用	●	●	●	●
エネルギー				
移動手段				
情報				
文化・伝統				
人格と人の安全保障				
正義				
強固な制度・平和・安定				
水(質)		●		●
大気		●		●
土壌				●
生物多様性 と生態系サービス				
資源効率・安全性		●		●
気候		●		●
廃棄物		●		●
包括的で健全な経済	●		●	
経済収束				

バリューチェーン	当法人の事業							
	8610		8710		8810		8890	
業種名	病院事業		居住介護施設		宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業		宿泊施設のないその他の社会事業	
インパクト	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水								
食料								
住居			●					
健康・衛生	●●		●	●	●		●	
教育								
雇用	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障			●	●	●		●	
正義								
強固な制度・平和・安定								
水(質)								
大気								
土壌								
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性								
気候		●						
廃棄物		●		●		●		●
包括的で健全な経済								
経済収束								

### ＜カテゴリごとの検討＞

発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応するSDGs ターゲットを整理する。当法人事業と関連の無いカテゴリについては分析対象外とする。

#### (i) 住居、健康・衛生、人格と人の安全保障

- 病院事業の最たる目的として、患者の日常生活への回復が挙げられ、そのためにも高度な医療体制の構築や最新のリハビリテーション手法の確立・導入が求められる。近年では、周辺地域に居住する市民の健康増進拠点として、病院が役割を期待される場面も多くなり、生活改善や健診等を通じた予防医療の強化も求められている。このことから、健康・衛生のPIが市民生活の向上に大きく貢献し得るレベルで出現している。
- 介護・福祉サービスにおいては、利用者・入居者の尊厳を最大限尊重した介護が求められており、入居者の個性に合わせた居住環境の維持や自立に向けた支援が望ましい。このことから、人格と人の安全保障のPIが出現している。また、入居系の介護施設では、過密な入居人数の施設における生活環境の悪化を防ぎ、良好な住宅を高齢者にもアクセスしやすくする観点から、住居のPIと人格と人の安全保障のNIが出現している。
- 岡山博愛会病院（以下、当病院）では回復期リハビリテーション病棟の増床を行い、医師・看護師による診察・治療に加え、作業療法士や理学療法士によるリハビリテーションにより、回復期における患者の日常生活への復帰に重点を置いた医療サービスを提供している。「元気になっておうちに帰ろう」をリハビリテーションのスローガンに掲げ、グループ内の特養、介護医療院、訪問看護・介護をはじめとする、11の施設と連携し

退院後の生活も支える「ケア・ミックス」型の医療、リハビリテーションを提供している。「AeE」のような多職種連携によるリハビリテーションや日曜・祝日も含めた1人1日平均2.5～3時間の手厚いリハビリメニューにより、早期に日常生活に復帰できる環境を構築している。また当病院には7名の医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が在籍しており、医師・看護師・リハビリスタッフ・ケアマネージャーなど各専門職とチームを組んで、入院の受け入れ調整や、退院後に継続した療養生活を送れるような環境整備にも取り組んでいる。



- 当病院では、防げる病気を未然に防ぐ予防医療の分野も強化している。当病院では健康管理センターを中心に人間ドックや健康診断を通じて、病気の早期発見を行い、専門スタッフの指導の下、早期の治療に取り掛かれる体制を構築している。また、診療報酬体系の重症化予防へのシフトに伴い、糖尿病治療体制の強化にも取り組んでいる。
- 市民の健康意識の向上にも当病院は力を入れている、一般市民向けに公開講座「地域なんでも勉強会」を開催しており、市民の健康増進や生活習慣の改善につながる情報提供を積極的に行っている。



- 介護福祉事業についても、「自立」を念頭になるべく自宅で暮らす環境と同じように生活が行えるよう、グループの横の連携を強化している。居宅介護支援事業所、デイサービス、訪問看護ステーションを同一施設の「在宅総合支援センター アリス」に集約し、情報連携の強化や支援の切れ間を作らない体制を整えている。また、看護小規模多機能型居宅介護「のぞみ」を地域包括ケアの核と位置づけ、少人数体制での手厚い医療・介護の提供とともに、家族のレスパイト支援の拠点の役割も担っている。これらの取り組みは、介護を必要とする人の家族への支援となり、無理のない介護ができる地域づくりにもつながる。これらの取り組みにより、健康・衛生、人格と人の安全保障のPI拡大に寄与している。



- SDGsでは「3.4:非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」「3.8:質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品へのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する」「11.1:すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保する」のターゲットに該当すると考えられる。

## (ii) 気候、廃棄物

- 日本政府は2050年までのカーボンニュートラルを目標に設定し、企業における温室効果ガス排出量削減や排出量モニタリングを求めており、空調や多くの電気機器を使用する病院・介護施設においても、温室効果ガス排出量削減が求められており、インパクトレーダーにおいても、気候のNIが出現している。また、医療機関では、薬品や医療廃棄物による環境汚染のリスクが懸念されることから、廃棄物のNIも出現している。
- 当法人では、建物の壁面をグリーンカーテンで覆い日射を遮り、室温の上昇を抑えている。また、施設内の照明は全てLEDを使用し、電気使用量を抑え、また放熱が少なくなることにより空調使用も抑えることができている。また、2024年度には岡山博愛会病院の屋上への太陽光発電設備の設置と空調のリニューアルが予定されており、再生可能エネルギーの使用割合増加や電力使用量のさらなる抑制が期待され、気候のNI縮小に寄与できる。



- 廃棄物管理も厳格に行い、管理責任者の元、廃棄物の種類や数量を日々記録し、有害廃棄物の能永防止に注力している。この取り組みは廃棄物のNI縮小に寄与している
- SDGs では「7.3:エネルギー効率の改善率を倍増させる」「12.5:廃棄物の発生を減らす」「13.3:気候変動の緩和。適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」等のターゲットに該当すると考えられる。

## (iii) 雇用

- 医療現場では、緊急時の対応や入院患者の支援という特殊な労働環境により、過重労働の発生がよく報告されており、職員の心身の健康の阻害や人材流出が大きな問題となっている。この観点より、雇用のNIが出現している。
- 当法人では、ICT機器の導入を積極的に行い、業務のDX化を早くから開始したことで一体的な業務の効率化・簡略化が進み、職員一人当たりの業務量や業務時間が大幅に減少している。また、リハビリテーションに携わる職員の多機能化や職員向け勉強会による能力向上などの人材開発にも力を入れ、職員の待遇改善を進めている。これらの取り組みにより「雇用」のPI拡大とNI縮小に寄与している。
- 2019年より、次世代育成支援対策推進法に基づいた一般事業主行動計画を策定し、計画に定めた目標を達成したことから、2021年に厚生労働省の「子育てサポート企業」認証制度、「くるみん認定」を取得し

た。子育て世帯でも働きやすい環境を整えるために、休暇の拡充や一人当たりの業務負荷の見直しを行い、採用人数も増加している。この取り組みが「雇用」のPI拡大寄与している。



- SDGs では「8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」「8.8：労働者の権利を保護し、安心・安全に働けるようにする」のターゲットに該当すると考えられる。

#### (4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、当社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

### 環境（Environment）

#### カーボンニュートラルの推進～自然も愛す～

当法人では、2024年1月より自家消費型の太陽光発電設備が稼働予定であり、当病院で使用する電気の30%を再生可能エネルギーで賄うことになる。さらに、空調設備を省電力タイプのものへ更新し、施設全体の電力消費量を削減する。これらの取り組みにより、法人から排出される温室効果ガスを大幅に削減し、地域のカーボンニュートラルを促進していく。

また、夏場には施設の窓や壁コーヤを用いたグリーンカーテンを設置し、エネルギーを遣わず室温を下げる工夫を行い、七夕に合わせて施設の照明を落とし、ろうそくの日で施設をライトアップする「キャンドルナイト」といった環境啓発のイベントを行うなど、独自の省エネへの取り組みや環境意識の啓発活動を行い、地域の環境保護活動を促進している。



このインパクトはUNEP FI のインパクトレーダーでは「気候」のカテゴリに該当し、環境面のPIの拡大と、NIを緩和すると考えられる。SDGs では「7.3 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる」「13.3：気候変動の緩和。適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」等のターゲットに該当すると考えられる。

## 社会（Social）

### 笑顔になれるリハビリテーション

当病院では、「元気になっておうちに帰ろう」をモットーに、医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの多職種専門スタッフがチームとなって、「365日リハビリテーション」を実施している。この中でも「AeE」や歯科衛生士による口腔ケアなど、「安全に口から食べるリハビリテーション」に注力している。1日でも早く日常生活を取り戻すためには、口から十分な量の栄養を摂取することが重要であるが、口から栄養を摂取することは、誤嚥性肺炎を引き起こすリスクが大きい。そのためにも、歯科衛生士による口腔ケアがカギとなる。口内の細菌バランスを適正に保つことで誤嚥をしても肺炎になりにくくなり、安全に口から食べる訓練を多くの患者へ提供し、高齢者の自立を促進する。

また、当法人ではグループ内の病院、介護施設の連携を強化し、病院内でのリハビリから自宅での介護体制構築まで、様々な医療・介護ニーズへ柔軟に対応できる体制を整えており、看護小規模多機能型居宅介護「のぞみ」等、多機能型介護施設を中心に法人全体の「ケア・ミックス」機能の強化を図っている。今後は、長期のリハビリが必要な患者へ、通所や在宅で各種リハビリを提供する在宅リハビリの拠点を新設し、介護保険制度にとらわれない、機能回復や自立をさらに重視した介護サービスの提供を行っていく。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康・衛生」「人格と人の安全保障」のカテゴリに該当し、社会的側面のPIを拡大すると考えられる。SDGs では「3.4:非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」「3.8:質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品へのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」「11.1:すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保する」等のターゲットに該当すると考えられる。

### 病気を防いで笑顔を守る

当病院では、重症化予防の取組みに今後注力していく。令和4年度の診療報酬改定より、「重症化予防の取組への評価」という方針を打ち出し、特に糖尿病、骨粗鬆症、高度難聴を発症している患者への運動指導やリハビリテーション、生活改善指導への診療報酬評価の新設や見直しを行っている。この動きは他の診療内容にも拡大される見込みであり、当病院が行うリハビリテーションや診療体制は親和性が高く、財務基盤の強化にもつなげる。このことから、重症化予防の観点をより強めたリハビリテーションの提供や、会員制の各種予防接種やがん検診の割引提供、糖尿病専門医を中心とした「透析に頼らない」糖尿病治療の推進を通じ、地域における予防医療の拠点機能を強化していく。

また、当病院では定期的に「地域なんでも勉強会」と題した健康増進・医療介護制度を題材にした市民向け講演会を開催しており、地域住民の健康意識の増進や医療・介護制度の活用を促進している。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康・衛生」のカテゴリに該当し、社会的・経済的側面のPIを拡大すると考えられる。SDGs では「3.4:非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」「3.8:質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品へのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」「11.1:すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保する」等のターゲットに該当すると考えられる。



企業統治 (Governance)

安心して活躍できる職場づくり

当病院では、妊娠・子育て中の社員が安心して働ける勤務体制や休暇制度の整備を行い、2019年にくるみん認定を取得している。このほかにも、宿直の勤務体系の導入による夜間勤務の負担軽減やシフトの柔軟性確保、医師の増員や積極的な新卒採用による職員の増強と若返りにより、エンゲージメントの強化や職員一人当たりの負担軽減も進めている。今後は、健康経営の深化をさらに進め、認証取得や新規採用・人員配置の適正化を行い、リハビリテーションスタッフの若返りを進める。

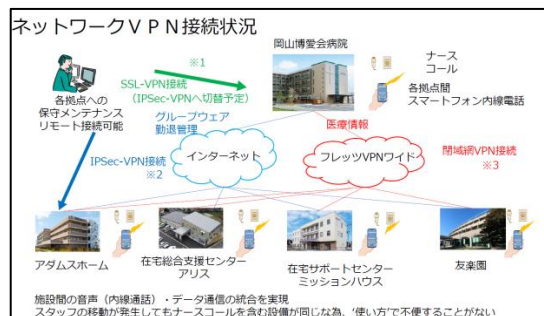
主な職種の職員数 推移	2015年	2022年
医師	8	16
看護師	70	121
リハビリスタッフ	1	72
ソーシャルワーカー	3	7

平均年齢 推移	2015年	2022年
医師	63.2歳	48.1歳
看護師	47.4歳	35.8歳

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーターでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会的・経済的な PI を拡大すると考えられる。SDGs では「8.5 : 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」「8.8 : 全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する」等のターゲットが該当すると考えられる。

病院機能のDX化と信頼性向上

当法人では、ICT機器の積極的な導入を行い、業務の効率化やミスの起こりづらい体制づくりを行ってきた。採血に使用する試験管の管理を自動化することで、作業の省略とラベルの視認性向上を実現している。また、法人内各施設のネットワークを統一し、内線通話やデータ通信を一元管理することで、保守メンテナンスを遠隔で実施でき、スタッフが施設間で異動しても設備やシステムを統一しているため、早期に職場になじむことができ、人員配置を柔軟にでき、職員の負担軽減も実現している。他にも、売店での決済機能やカードキー機能を付与した職員IDカードの貸与やRPA導入による事務作業の簡略化など、他分野でのDX化も進め、事例やノウハウの紹介も積極的に行うことで、医療・福祉分野のDX推進の旗振り役も担っている。



回復期リハビリテーション病棟では診療報酬の施設要件において、公益財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価の取得が「望ましい」とされており、今後の診療報酬改定において必須となる可能性も指摘されている。また、医療機能評価を取得することで、病院内のガバナンス強化により安全な医療提供体制の構築が実現でき、提供される医療やリハビリテーションの高度化やマニュアル整備によるボトムアップも図ることができる。当病院では、医療機能評価取得に向けた準備を進めており、早期の評価取得を目指している。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーターでは「健康・衛生」「雇用」のカテゴリに該当し、社会的な PI を拡大すると考えられる。SDGs では「3.4: 非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」「8.5 : 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」等のターゲットが該当すると考えられる。(5) インパクトニーズの確認、百十四銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

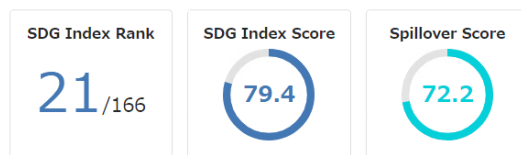
- 国内の「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと当社のインパクトを確認する。
- 当社のインパクトに対するSDGsのゴールは、「3、7、8、9、11、12、13」である。国内におけるSDGsダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「3、7、8、11」において課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと当社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。

# Japan

OECD member



BACK OVERVIEW INDICATORS FACT SHEET POLICY EFFORTS



## SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



②百十四銀行が認識する社会課題との整合性



- 百十四銀行は、「百十四グループのサステナビリティ」において「地域経済活性化への取組み」「人生100年時代への対応」「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「DXの実現と地域社会のデジタル化」「気候変動等、環境課題への取組み」「持続可能な経営基盤の構築」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 当社の特定したインパクトにおいて、環境に関連するインパクトは、百十四銀行の「気候変動等、環境課題への取組み」と方向性が一致する。
- 社会に関連するインパクトは、百十四銀行の「人生100年時代への対応」「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「地域経済活性化への取組み」と方向性が一致する。
- 企業統治に関連するインパクトは、百十四銀行の「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「地域経済活性化への取組み」と方向性が一致する。

以上のように、百十四銀行は本件の取組みが、SDGsの達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。



### 3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PIの拡大、NIの緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれにKPIを設定する



## カーボンニュートラルの推進～自然も愛す～

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてNIを緩和
カテゴリ	「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	太陽光発電設備導入、空調設備更新 環境啓発イベントの開催、グリーンカーテンの設置
KPI	2030年までに使用電力の40%を再エネに（2023年1月現在：0%） 環境啓発イベントを年13回開催

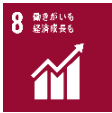
## 笑顔になれるリハビリテーション

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康・衛生」「人格と人の安全保障」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	回復期リハビリテーション提供能力の強化 グループ内外との連携を活かした医療・介護サービスの提供
KPI	2030年までに独自の食事機能リハビリテーションAeE（activities to enjoy eating:当院独自の経口摂食機能回復リハビリテーション）のべ300人実施 2025年までに在宅リハビリテーション拠点を新設 （拠点設置後は、改めてKPI・目標を設定予定）

## 病気を防いで笑顔を守る

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康・衛生」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	重症化予防医療・リハビリテーションの提供 健康意識啓発活動の強化
KPI	2025年までにインフルエンザ・がん検診割引を行う会員制度設立 （会員制度設立後は、健診を入り口とした付随の医療サービス利用拡充に向けたKPI・目標を改めて設定予定） 市民の健康増進や生活習慣改善を企図した公開講座「なんでも勉強会」・「おでかけ健康教室」をそれぞれ年間12件開催

### 安心して活躍できる職場づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてPIを拡大 社会的側面においてNIを縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	健康経営強化と業務負担の見直しによるエンゲージメント向上 新規スタッフの採用と人員配置の適正化による業務効率化
KPI	2025年までにブライト500認証取得 (認証取得後は改めてKPI・目標を設定予定)

### 病院機能のDX化と信頼性向上

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康・衛生」「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	DX化による病院事務の効率化と確実化 病院機能評価取得による医療の品質向上・安定化と対外的評価の向上
KPI	2030年までに事務従事時間を2023年比30%削減 2025年までに病院機能評価取得

#### 4. モニタリング

##### (1) 岡山博愛会におけるインパクトの管理体制

- 当法人では、法人本部を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後についても、毎年法人が策定する運営方針に従って、各部署が SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

##### (2) 百十四銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、当社と百十四銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

**【留意事項】**

1. 本評価書の内容は、百十四銀行が現時点で入手可能な公開情報、岡山博愛会から提供された情報や当社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 百十四銀行が本評価に際して用いた情報は、百十四銀行がその裁量により信頼できると判断したものはあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は百十四銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



# セカンドオピニオン

## 百十四銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2024年2月15日

## 社会福祉法人岡山博愛会

ESG 評価本部

担当アナリスト：新井 真美

格付投資情報センター（R&I）は百十四銀行が岡山博愛会に対して実施したポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブインパクト金融原則（PIF 原則）に適合していることを確認した。

R&I は別途、百十四銀行のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している<sup>1</sup>。今回のファイナンスに関して百十四銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

百十四銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

### (1) 対象先

社名	社会福祉法人岡山博愛会
所在地	岡山市
創立	1891年12月
事業内容	病院・介護福祉施設・保育園などの運営
売上高	42億800万円（2023年3月期）
従業員数	519名（2023年3月末時点）

### (2) インパクトの特定

百十四銀行は融資先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

### (3) インパクトの評価



百十四銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理して KPI を設定した。ポジティブインパクトは SDGs 達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、百十四銀行が掲げる重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致することを確認した。

<sup>1</sup> 2023年3月31日付セカンドオピニオン「百十四銀行 114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」  
[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2023/04/news\\_release\\_suf\\_20230403\\_jpn\\_2.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230403_jpn_2.pdf)



## ① カーボンニュートラルの推進～自然も愛す～

インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電設備導入、空調設備更新</li> <li>環境啓発イベントの開催、グリーンカーテンの設置</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに使用電力の40%を再エネにする（2023年1月現在：0%）</li> <li>環境啓発イベントを年13回開催</li> </ul>


## ② 笑顔になれるリハビリテーション

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「人格と人の安全保障」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復期リハビリテーション提供能力の強化</li> <li>グループ内外との連携を生かした医療・介護サービスの提供</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに独自の食事機能リハビリテーション AeE (activities to enjoy eating：当院独自の経口摂食機能回復リハビリテーション) をのべ300人に実施</li> <li>2025年までに在宅リハビリテーション拠点を新設（拠点設置後は改めて KPI・目標を設定予定）</li> </ul>



## ③ 病気を防いで笑顔を守る

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症化予防医療・リハビリテーションの提供</li> <li>健康意識啓発活動の強化</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年までにインフルエンザ・がん検診割引を行う会員制度を設立（会員制度設立後は、健診を入口とした付随の医療サービス利用拡充に向けた KPI・目標を改めて設定予定）</li> <li>市民の健康増進や生活習慣改善を企図した公開講座「なんでも勉強会」・「おでかけ健康教室」をそれぞれ年間12件開催</li> </ul>

## ④ 安心して活躍できる職場づくり

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営強化と業務負担の見直しによるエンゲージメント向上</li> <li>新規スタッフの採用と人員配置の適正化による業務効率化</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年までにブライト500認証取得（認証取得後は改めてKPI・目標を設定予定）</li> </ul>

## ⑤ 病院機能のDX化と信頼性向上

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX化による病院事務の効率化と確実化</li> <li>病院機能評価取得による医療の品質向上・安定化と対外的評価の向上</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに事務従事時間を2023年比30%削減</li> <li>2025年までに病院機能評価取得</li> </ul>

## (4) モニタリング

百十四銀行は融資先の担当者との会合を少なくとも年に1回実施し、本PIFで設定したKPIの進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い融資先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以 上



## 【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&Iは、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むもの）として、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むもの）として、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

## 【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に開示しています。

R&Iは2022年12月、金融庁が公表した「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の6つの原則とその実践のための指針へのR&Iの対応状況についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&Iと資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&IはESGファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客にR&IのESGファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&Iは、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。